

自閉症・発達障害特性シート WSOO1

日付：2019/02/07	Aさん（小学校3年）	記入者：放課後等デイ 水野
特 性	本人の行動・様子・特性解説	指導・支援の方向性
コミュニケーションの特性・社会性	受容コミュニケーションの特性 言語指示の理解の困難さ、字義どおり理解する、言語指示やその他の情報を整理してつかむことができない、情報を部分的に理解するなど	言葉の部分に着目する。文字理解は難しい。絵や写真は理解している。
	表出コミュニケーションの特性 無言語、自発的表出コミュニケーションが少ない。遅延反響言語、即時反響言語、声の調子やリズム、独特な言葉の選び方、意思交換の困難さ など	「ほしいの？」と聞くと「ほしいの」と反響言語がある
	社会性・対人関係の特性 一人でいることを好む、アイコンタクトやジョイントアテンション、セオリ・オフ・マインドの困難さや独特さ、自発的にかかわりをもつことの困難さ など	アイコンタクト少ない。自分から関わること少ない。
空欄があってもOK		
全体よりも細部に注目する特性	転導性・衝動性 注意・注目の特性 転導的・衝動的な行動、切り替えの困難さ、注目することの困難さ、不注意や多動的行動など	（初級）おもちゃに注目すると次の活動に移れない時がある。スーパーに入るとおもちゃやお菓子のコーナーをうろうろしてじっとしていない。 （アドバンス）興味関心のあるものに強く注目して次の活動に切り替えが難しい場合がある。興味関心のあるものに引っ張られて転導的にうごく場面がある
	時間の整理統合の特性 先の活動の見通しの難しさ、日程の計画と調整、活動や手順の調整、時間の境界イメージが困難さ、実行機能の困難さなど	終わりが先の見通しが明確でないと不安になり、動けなくなることがある。周囲の状況を整理して自分が現時点で何をするのか、先に何をするのかの計画を立てることが難しい。
	空間の整理統合の特性 自分の位置や材料や道具の位置の調整、1つの場所の多目的利用の困難さ、空間の境界イメージの困難さ など	材料や道具などを周囲の状況から判断するのが難しい。材料がバラバラだと混乱することがある。各活動場面で自分がどこにいればいいのかの判断が難しい。
	変化の対応の特性 場所、物、人、予定、習慣の変化の不安・抵抗、1つの状況を保持しようとする、強迫的な行動、ルーティンの必要性 など	物の位置の変化や、本人のイメージする状況が変わったときに、元の状態や自分のイメージ通りにしたり、状態を保持しようとしていたりする。いつもの日課とは違う活動があると混乱することがある。
	関係理解の困難さ 関連づけの独特さ、関連づけが難しい、自己流の解釈、字義どおりの解釈、絵などを具体的にとりすぎる など	字義どおりに解釈することがある。1つの場面状況と物の使い方、言葉の結びつきがつよい。状況や指示とは関係なく、一度経験したことや間違っただけの行動を繰り返すことがある。
	一般化の特性 習得したスキルや人や物への対応を他の場面、違う文脈で状態が変わる。材料・場面・指導者が変わったときに課題を遂行できないなど	空欄があってもOK
	記憶の維持の特性 短期記憶・作業記憶などの維持の困難さ、刺激や情報が入った時の記憶の維持への影響など 1つの様子・行動がいくつかの特性に関連する	指示されたことが少し時間がたつと消えていることがある。目的の場所に移動しているときに、違う場所にいくことがある。
長期記憶の特性 長期に脳に維持される記憶、経験した記憶が消せない特性、経験したことの正確で部分の繰り返し・再現 など	状況や指示とは関係なく、一度経験したことや間違っただけの行動を繰り返すことがある。	
感覚の特異性 視覚刺激、聴覚刺激、味覚刺激、嗅覚刺激、触覚刺激などによる反応、拒否、鋭敏さ、鈍感さ など	機械の音や物がこすれる音で耳ふさがみられる。	イヤマフのアセスメントと導入を検討中
微細運動・粗大運動 手と目の供給の困難さ、手先の不器用さ、緊張のある動き、柔軟さのない体全体の動き など	手先を使うときに緊張したり、力が強すぎることもある。	手先を使った課題のアセスメント。
その他の特性 感情のコントロール、不安の状況 など		
理解に関する特性 (何を見て理解できるか)	絵・写真・1対1の対応、フットイン 記号のマッチング 他は個人情報シート参照	スケジュール 写真 ワークシステム 記号のマッチング 視覚的構造化 絵や写真の完成見本 他

※シートの記入方法に関しては書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』(14~17頁)を参考にしてください。 検索“自閉症 フレームワーク”